

令和 6 年 4 月 11 日
愛 媛 大 学

愛媛大学生が令和 5 年度パテントコンテストで 特別賞を受賞しました

この度、愛媛大学医学部医学科3年生の富岡 珠里さんが、令和5年度パテントコンテストにおいて『命を救うハンカチ』という発明で特別賞（新しい生活様式アイデア賞）を受賞しました。県内の大学生が特別賞を受賞するのは初めてのことです。

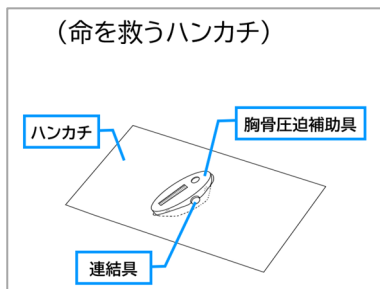
パテントコンテストは、日本の次世代を担う生徒、学生自らが考え出した発明から優秀な作品を表彰するもので、文部科学省や特許庁などが主催しています。令和5年度は511件の応募の中から6件が特別賞に選ばれました。

受賞後、富岡さんは知的財産権制度の専門家である弁理士のアドバイスのもと、実際に特許庁へ『命を救うハンカチ』の特許出願を行いました。

つきましては、是非、取材くださいますようお願いいたします。



医学科3年生の
富岡 珠里さん



胸骨圧迫は、手の付け根から肩までをまっすぐに伸ばした体勢で倒れている人の胸の真ん中を真上から強く押す必要があります。今回開発した『命を救うハンカチ』は、胸部があらわになる抵抗感を軽減しつつ、胸骨圧迫時の姿勢を矯正できる補助具です。ハンカチと補助具は連結具でつながっており、簡単に取り外し可能なため、普段はハンカチとして使うこともできます。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学医学部
総務課総務・広報チーム
電話:089-960-5943
Mail:mesyomu@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 1 枚（本紙を含む）